

## 房総里山芸術祭 いちはら×アートミックス2020+をめぐる旅—5：駅舎プロジェクト（4）

### 南いちはら 駅舎プロジェクト①

上総牛久駅



作 者：藤本壮介〔日本〕

作 品 名：里山トイレ

作品紹介：

里山の始まりを予感させる風景。人と自然と建物が溶け合うように小さな複数の建物が木々の間に点在し、里山らしい多様な風景をつくりだす。

上総川間駅



作 者：ジョアン・カポーテ〔キューバ〕

作 品 名：Nostalgias

作品紹介：

実際に使われていたスーツケースに、レンガとモルタルが敷き詰められ、ひとつの大きな壁をなす作品。

上総鶴舞駅



作 者：藤本壮介〔日本〕

作 品 名：Tree / Toilet

作品紹介：

シンプルな家の形の建物が周囲の自然を引き立てる。男子トイレは吹き抜けがあり、内部に樹木を植栽。女子トイレの窓ガラスは菜の花色に塗装。



作 者：成田 久〔日本〕

作 品 名：試着駅。（上総鶴舞駅千葉県原市池和田 898-2）

作品紹介：

上総鶴舞の駅舎に空色のコスチュームを展示。空色の服を身につけた写真も展示。「みなさま、さあ、空色に着替えて出発進行！」と作者は呼びかける。